

日语能力测试过级辅导丛书

本册主编：吴桐
丛书主编：宫伟

一级读解



大连理工大学出版社

日语能力测试过级辅导丛书

一级读解

丛书主编: 宫

本册主编: 吴

江苏工业学院图书馆
藏书章

大连理工大学出版社

© 吴桐 2006

图书在版编目(CIP)数据

一级读解 / 吴桐主编. —大连:大连理工大学出版社, 2006. 7

(日语能力测试过级辅导丛书)

ISBN 7-5611-3180-1

I. 一… II. 吴… III. 日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料 IV. H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 059886 号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 传真:0411-84701466 邮购:0411-84703636

E-mail: dulp@ dulp. cn URL: <http://www. dulp. cn>

大连金华光彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:185mm × 260mm 印张:11.5 字数:264 千字

印数:1 ~ 6 000

2006 年 7 月第 1 版

2006 年 7 月第 1 次印刷

责任编辑:王佳玉 宋锦绣

责任校对:萧 音

封面设计:苏儒光

定 价:18.00 元

日语一级读解对策与训练

日语读解,是指对日语文章的阅读理解,考核考生阅读、理解、分析和解决问题的能力。日语学习过程中有“点—线—面”的关系,阅读理解要求考生达到的不是“点”(词汇)的接触,或“线”(句子)的贴近,而是“面”(文章)的到达,即单词、短语、句型、语法、文章结构、思想表达方式等各方面能力的总和,所以日语教学一向十分重视文章的阅读理解。

在进入训练之前,首先了解以下几点:

一、日语能力测试中阅读理解在选用文章的篇幅上发生了一些变化。

阅读理解的总题量基本为 22~25 道。1999 年以前问题 I 和问题 II 各为一篇长篇文章,每篇设 5~8 道题;问题 III 是 5~7 篇短文,每篇设 1~2 道题。2000 年以后调整为问题 I 是一篇长篇文章,设 5~8 道题;问题 II 是 3~4 篇中篇文章,每篇设 3~4 道题;问题 III 是 3~5 篇短文,每篇设 1~2 道题。虽然总题量没有变化,但是中篇文章的增加使阅读量增加了,文章密度更大,潜在的信息更丰富,要求考生阅读时精神高度集中,准确理解文中每一句话的含义和各句、各段之间的逻辑关系。

二、阅读理解所选用的文章题材极为广泛,大体可分为四类:

1. 社会科学:如历史学、人类学、社会学、政治学、经济学和考古学等。
2. 自然科学:如化学、物理学、天文学和地质学等。
3. 生物科学:如医学、植物学和动物学等。
4. 人文学科:如艺术、文学批判、哲学、音乐和民间传说等。

有时还可能会选用生僻题材,不过选材广泛的目的不仅是为了增加阅读的难度,最主要的目的是测试考生对文章的真正理解程度,文章中必然包括所有回答问题必需的信息,所以考生不必为题材所吓倒。

三、阅读理解的题型。

阅读理解考察的是考生理解、分析、运用材料中所提供信息和概念的能力,问题设置也依此为据。阅读理解一般包括以下 10 种题型:

1. 选择文章中心主题或文章标题(テーマ)
2. 选择作者主要阐述的观点(筆者的主張)
3. 选择符合文章内容的选项(文章の内容と合っているもの)
4. 选择事态的原因(原因・理由)
5. 理解划线部分内容的含义(下線部の意味)

6. 选择指示词所指代的内容(指示語の内容)
7. 选择适当接续词填空(接続詞・接続的表現)
8. 选择适当的语句填空(()に入る最も適当なもの)
9. 段落排序(文や段落の並べ替え)
10. 选择符合图表内容的选项(グラフ問題)

本书阅读理解训练分为基础篇与综合篇。其中基础篇分10回,就上述10种类型题进行题型分析,提供解题思路 and 技巧,并附设专项训练。考生结合解题技巧有针对性地做专项训练,反复揣摩,认真体会,加强对该题型的理解,以达到省时间、增效率的目的。综合篇是15回模拟训练,按照日语能力测试的形式每回安排了1篇长文章、3篇中文章及5篇短文章的训练。在专项训练的基础上再进行实战训练,考生可以在短时间内实质性地巩固和提高读解能力。

四、阅读过程中,临场经验、心理素质等因素可能会左右考生的正常发挥。

为了提高大家的读解水平,在读解部分取得更好的成绩,提醒大家应注意以下几项答题技巧:

1. 先短后长、先易后难。

读解部分的出题顺序是长文章→中文章→短文章,我们建议考生按照相反的顺序解题,即短文章→中文章→长文章。其中,短文章最好把握,相当于单一的专项训练,所以考生不妨先做问题Ⅲ,稳定心理,培养自信。之后过渡到中文章,相当于小的综合训练。最后,有了足够的心理准备,就可以心平气和地攻克长文章了。

2. 熟悉考题、关注注解。

知己知彼,百战不殆。在攻克读解前,首先应该知道你要面临的难题是什么。所以,在开始阅读文章之前,先认真看一遍问题,找到每个问题出现在文章中的位置和提问方式之后,再带着明确的目的,有的放矢地去阅读。而且,问题部分或选项部分往往对文章的内容有所提示,这些信息也许对考生阅读和理解起到指导性作用。此外,别忘了关注注解单词,以减少阅读过程中的障碍。

3. 通览全文、避开干扰。

阅读过程中难免会遇到个别生词,这时要求考生不要在个别词句上过分纠缠,可采用跳读和略读,要通读全文,把注意力集中在文章整体的关联上,了解文章的大意和主旨。如果该生词恰恰是关键词语或问题之一时,就需要通过对文章的整体文脉和上下文提示去推导该词的含义。

4. 抓主题句、找关键词。

上下文的逻辑关系、作者思路发展的脉络以及文章的整体结构往往由一些关键性词语串联起来,比如接续词、接续助词等等,在阅读时一定要格外关注。阅读过程中,如中心句、主题句、句中难点、特殊细节、重要关联词语以及论点、论据和结论可以做适当的标记,这样在回答各类问题时就能迅速找到相关部分。

当然,具体问题还需具体分析来解决。希望考生参考本书解题指导做完专项训练和综合实战训练后,读解水平能有一个质的飞跃,再加上考生原本具备的语言功底和思维辨析能力,祝大家在考试中取得优异的成绩。

目 录

基础篇

第一回	テーマ	2
第二回	筆者の主張	6
第三回	文章の内容と合っているもの	9
第四回	原因・理由	12
第五回	下線部の意味	15
第六回	指示語の内容	18
第七回	接続詞・接続的表現	21
第八回	()に入る最も適当なもの	25
第九回	文や段落の並べ替え	28
第十回	グラフ問題	32

综合篇

综合练习一	40
综合练习二	49
综合练习三	58
综合练习四	67
综合练习五	75
综合练习六	85
综合练习七	94
综合练习八	103
综合练习九	112
综合练习十	121
综合练习十一	130
综合练习十二	139
综合练习十三	149
综合练习十四	157
综合练习十五	165
参考答案	174

基

础

篇

第一回 テーマ

题型分析与解题技巧

★题型分析 在理解把握文章大意的基础上,归纳总结全文或某个段落的主要内容、给文章拟定题目、分析文章的体例或写作目的。设问形式多为:

第…段落では何を説明しているか。

この文章の表題として最も適当なものはどれか。

この文章は何について書かれたものか。

筆者がこの文章を書いた目的は何か。

★解题技巧 此题型大多是长文读解的最后一个问题。与阐述作者观点立场的题有所不同,主题一般贯穿始终却没有明显的提示,考生关键要注意第一句(段)和最后一句(段),找出其中的关键词语,然后将这些词语汇总,找出它们之间的关联或共性,有助于理解文章的主题。

专 项 练 习

(1)

古典派経済学の創始者といわれ、18世紀後半に『諸国民の富』を著したアダム・スミスは、イギリス資本主義の起きた時期に、重商主義経済政策を批判し、資本主義経済での自由な経済活動の利点を述べた。スミスの後継者たちは、19世紀前半に、イギリスにおける穀物の輸入をめぐる論争を繰り広げ、その後の議論に大きな影響を与えた。

19世紀半ばにマルクスは、資本主義経済の数々の問題点を目の当たりにした。それは、資本家による労働者の搾取や恐慌の深刻化といったものだった。そして彼は、『資本論』を著し、資本主義経済の動きや法則を明らかにしようとするとともに、労働者が資本家によって支配されない社会を目指す社会主義・共産主義の思想を発展させた。

20世紀に入り、ケインズは、有効需要の原理を明らかにしたり、政府による積極的な市場介入を理由付けしたりして、古典派経済学の自由放任の考え方とは考えを異にした。それまでの経済学では、アメリカではじまった大恐慌に対処することができなかったためである。しかし、1970年代以降、財政赤字の増大やスタグフレーションなどを前に、ケインズ派の「大きな政府」を批判して「小さな政府」に向かう考えが出てきた。

問い この文章の表題として最も適当なものはどれか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 資本主義経済の流れ | 2 社会主義経済の流れ |
| 3 経済学の代表的な人々 | 4 経済問題の解決方法 |

(2)

ひとの話を聞きながら、うーむ、その話も、それからさっきの話も、新聞に出ていたなあ、などと思うことがある。その人が得々として話していることは、知った情報をいわば受け売りしているのである。

それなりに面白い情報の羅列なのに、心の琴線に触れない。その人の心身を通して出てきた知恵のことばがないからだ。そう感じて思わず自分の話し方をも省みる。私たちは、とにかく情報を知恵と混同しがちである。

当節、情報は山ほどある。それを取り入れて、賢くなったように錯覚する人がいる。あるいは情報の洪水におぼれ、流される人もいる。むろん、情報は持っているに越したことはない。情報は力でもある。

だが、あくまでも情報は情報である。例えば、育児、教育、健康などに関して、情報を集める。それは結構だが、その上でどういう生活をするかを決めるのは、知恵の領域である。知恵が働かないと、情報に振り回される。

ことの道理や筋道をわきまえ、しっかり判断する心の働きが知恵であり、頭の良さ、学問的知識の有無などといったことではない。人生経験は関係があるだろう。だが体験したことを十分に自分の収穫とし、いつも考え抜く訓練がなければ知恵にはなるまい。

英国の詩人・批評家、T. S. エリオットに、こういう言葉がある。「私たちが知識の中で失った知恵は、どこにある？ 私たちが情報の中で失った知識は、どこにある？」。混同しがちな三つのものが詠み込まれている。

自分の仕事に打ち込んできた、すぐれた職人。様々な苦勞を重ねた年配の女性。時々、こういう人々から、重みのある、味のある、知恵の言葉を聞くことがある。各自の体験から引き出された、人生への深い洞察に裏打ちされた言葉である。

先生たちは教室で知恵の言葉を語っているだろうか。親は子の情報判断を助けているだろうか。

問い この文章の表題として最も適当なものはどれか。

- | | |
|---------|---------|
| 1 知識と言葉 | 2 知恵と情報 |
| 3 体験と知恵 | 4 情報と力 |

(3)

奴隷クローン人間の話は、だれでもおもしろいと思います。みんながいやな感じを持つことは、生物学的に意味のあることがしばしばあります。早い話が、人類の遺伝子がすべて同じになれば、病気にやられるときは、全人類がやられて、あっさり全滅して

しまうでしょう。ある病気に弱い人がいても、遺伝子がちがうため生き残る人もいるのです。ひとつの種の中でも、遺伝子のなればが多様だからこそ、生物は進化してきたのです。

南米のアンデス山地ではジャガイモが主食で、いろんな品種を保存し栽培しています。異常気象でも、病気が出ても、一部の品種は実を結び、餓死はさけられます。コメでもムギでも、多くの品種の種子が保存してあれば、新しい病気が出ても、交配によって病気に強い新品種をつくれます。

いくらバイオテクノロジーが発達しても、人間があたらしい高等生物をつくることはまず不可能です。それなのに、環境破壊によって、ある推定によれば、全世界で毎年1000種の生物が絶滅しつつあるということです。これを止めなければ、人類は滅亡への道をたどることになるでしょう。

問1 この文章の中心となる話題は何か。

- 1 ジャガイモの品種の多様さについて
- 2 新しい品種の開発について
- 3 生物学的多様性と生物の進化について
- 4 病気の克服法について

問2 筆者がこの文章を書いた目的は何か。

- 1 環境破壊による種の絶滅が人類に危機をもたらすということの根拠を明らかにする。
- 2 人間の力には限りがあることを説く。
- 3 バイオテクノロジーの発達を奨励する。
- 4 「みんながいやな感じを持つこと」には生物学的根拠があることを実例を挙げて証明する。

(4)

かなしみ

谷川俊太郎

あの青い空の波の音が聞こえるあたりに
何かとんでもないおとし物を
僕はしてきてしまったらしい

透明な過去の駅で
遺失物係の前に立ったら
僕は余計に悲しくなった

- 詩集「20億光年の孤独」 -

遺失物係の世話になったことのある人は多いはずです。おとし物が戻ってきたとき

はうれしいけれど、あとかたもなく消えうせてしまったときのさびしさ。おとし物が多いせいか係の人は事務的にさばいて、あまり人間的な言葉を発してくれません。

この詩の中の遺失物係に人はいたのでしょうか。人気のない駅。どうも無人だったような気がします。しかも、おとし物が何だったかも忘れてしまって、忘れたという感覚だけが残っていて。途方にくれて。すべてが曖昧で、それなのに、へんに澄んだ世界です。

生まれてくるとき、人はどういうところを通ってきたのでしょうか。

「私はどうして今、ここにいるのだろう」

「いったい何をやっているのだろう」

「なんのために生まれてきたのだろう」

思い出せそうで、うまく思い出せない世界。両親がいたから生まれてきたのに違いはないけれど、もう一つ別の、抽象的なルートに思いを馳せるようになったとき、人は青春の戸口近くに立ったことになるのでしょう。

日本語には「ものごころつく」という味わい深い言い方がありますが、体がつねに細胞分裂をくりかえして大きくなってゆくように、心の世界でも幼年時代の単一さから、分裂の気配をみせはじめます。自分を客観的にとらえようという動きが出てきて、さまざまな欠落感になやまされるようになります。「かなしみ」という詩も、そんな問いの一つかもしれません。

問1 この文章によると「かなしみ」という詩は人間の一生のうちで、次のどの時期を扱っているか。

- 1 生まれたばかり 2 幼年期 3 青春期 4 成熟期

問2 この文章によると「かなしみ」という詩のテーマは次のどれか。

- 1 おとし物が戻ってこなかったときのさびしさ
- 2 言葉をあまり発しないで仕事を事務的にさばくことの非人間性
- 3 体がつねに細胞分裂をくりかえして大きくなっていくこと
- 4 自分を客観化しはじめるときに感じる欠落感

第二回 筆者の主張

题型分析与解题技巧

★题型分析 通过对整篇文章的理解,总结领会作者的写作意图,感悟作者的心声。设问形式多为:

この文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

「…」とあるが、ここで筆者の言いたいことは何か。

この文章に表れている筆者の気持ちはどれか。

「…」という言い方に筆者のどんな気持ちが現れているか。

★解题技巧 先通读全文,略去具体实例,从论述部分概括作者所要表达的立场和观点;短文需注意第一句话和最后一句话,而长文章则重点留意最后一段,这里大多含有作者发表的意见或看法;此外,关注接续词的使用,往往接续词后的内容就是作者的意见或感想。

专项练习

(1)

近代における経験主義や合理主義に代表される科学的な考え方がもたらした成果には、目覚しいものがあつた。科学技術の進歩はその一例であろう。これによって私たちの生活は大きく改善された。しかしこうした進歩と引き換えにして、私たちは、環境汚染のような大きな代償を支払ってきたのも事実である。効率と利潤のみを追求した重化学工業のあり方は、さまざまな公害を引き起こした。日本の四大公害裁判にみられたように、被害者が十分な救済も受けられないまま、長年にわたり苦しみを経験した場合もある。

近代の科学技術は、目的自体を問うよりも、目的に対する手段の効率性を優先させる傾向があつた。このことが生活を豊かにしてきたことはたしかである。しかし、手段の効率性を重視するあまり、多様な要素の複雑な関連からなる精巧な生態系(エコシステム)が軽視され、この結果、逆に人間の生存さえも危険にさらされることがあつた。今日私たちが、目的そのものの妥当性を問うとともに、こうしたシステムのなかでの人間の生き方を考えなければならないだろう。

問い この文章で筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 科学技術の進歩は私たちの生活を大きく改善した。
- 2 近代の科学技術は、目的自体を問うよりも、手段の効率性を優先させる傾向がある。
- 3 科学技術の進歩によって、人間の生存は危機にさらされている。
- 4 科学技術の目的の妥当性を問い、生態系のなかでの人間の生き方を考えなければならない。

(2)

自然を相手にしていると、私たちのように気が長くなります。あせっても、どうしようもない。ところがみなさんは気が短くなりましたね。環境をこわす側も、逆を守る運動をする人たちも。自然が好きという町の人々がふえましたが、それでも「自然を見て」それだけでおしまい。自然の営みがもつテンポとは全く縁のない接し方です。

問い 筆者がいちばん言いたいことは何か。

- 1 自然を相手にしていると気が長くなることも短くなることもある。
- 2 自然が好きで親しみたいという町の人が増えたことはいいことだ。
- 3 気が短い人は自然を好きになったり守ったりすることができない。
- 4 自然とつきあうには人間が自然の営みに合わせなければならない。

(3)

言葉は時代と共に変わる。今の若い女性の中には平気で男言葉で話す人も多い。男性が語尾に「よね」をつけて話したり、女言葉に近づいてもいる。男女の言葉の差は昔に比べれば格段に少なくなっている。今の時代の男女の生き方を象徴しているのでもあるだろう。そんな中で「男言葉」「女言葉」を守ろうというのではない。時代の流れに任せてもなお自然に残る言葉は残るのではないかと思うのだ。口に出す時ちょっとした抵抗感があるかないかという形で、その感覚を大切にしたい。それが日本語の中の文化であり味わいであるかもしれないと思うから。

問い この文章で、筆者はどのようなことを言おうとしていると考えられるか。

- 1 言葉の男女の差は将来、残らないだろう。
- 2 言葉の男女の差は今後もなくなって欲しくない。
- 3 言葉の男女の差は今日では、意識されていない。
- 4 言葉の男女の差はしだいに、大きくなっていくだろう。

(4)

つい先日のことだが、アメリカのあるスポーツ指導者が日本の競技者についていていた言葉を新聞で見て興味を引かれた。日本人はスポーツの上に自分の人生を築い

ている。出発点に人間がない。それではだめだというのである。

これは、ほとんどそのままわれわれの音楽にも当てはまる。なぜ音楽をやるのかということを問う前に音楽から出発する。だから、学生のうちは、あるいはコンクールまでは良いが、その先にはつながらない。これだけの音楽の水準を確保しながら、本当の大家が生まれない。

問い この文章で、筆者は何を言いたいのか。

- 1 音楽をする人も、スポーツをする必要がある。
- 2 なぜ音楽をやるのかを始めに考えるべきだ。
- 3 音楽をスポーツのように考えてはいけない。
- 4 まず演奏の技術を高めなければならない。

(5)

子どもを産む、産まないは夫婦の問題であって、産めないような状態で議論しても始まらない。育児や家事を男性も女性と同様に担うようになれば、産む人は増えるだろう。

だが、子どもを無理して産まなければならないのだろうか。人口が減って何がいけないのか。働き方にしても、住まい方にしても、人が少ない方がゆったりと暮らせるのではないか。

いまの年金制度は変えなければならないし、右肩上がりの成長を頼みにしてきた企業は困るかもしれないが、むしろ手に職を持った人たちが評価されるような社会が来るのではないか。

日本より出生率が低いイタリアですら、「少子」を問題視していない。そろそろ見方を変えてはどうか。

問い この文章で筆者が最も言いたいことはどれか。

- 1 企業が困っても、年金制度を変えて、手に職を持った人たちが評価される社会にすべきだろう。
- 2 子どもを産むか、産まないかは夫婦の問題だから、他人が議論しても仕方がない。
- 3 少子化を恐れる必要はなく、社会のあり方への見方を変えていけばよい。
- 4 男性も育児や家事を担うようになれば、出生率も高まるだろう。

第三回

文章の内容と合っているもの

题型分析与解题技巧

★题型分析 在理解把握文章大意的基礎上,判断选项中的表述是否与文章内容、作者观点接近或一致。设问形式多为:

この文章の内容と合っているものはどれか。

この文章の内容と合わないものはどれか。

筆者の考えに最も近いものはどれか。

「…」についてこの文章からわかることは何か。

★解题技巧 通读全文,理解把握全文大意及作者观点,然后对比各个选项即可,如果仍把握不准,可采取排除法。

专项练习

(1)

第二次世界大戦後の国際経済体制の枠組みは、長い大戦期間の経済のブロック化に対する反省に基づいて、アメリカの主導の下に考えられた。その結果、1945年に国際的な通貨体制の安定を目的とする「国際通貨基金(IMF)」が設立された。IMFは「固定為替相場制」を採用し、基軸通貨をドルと定めた。また、第二次世界大戦で荒廃した国の再生と援助のために資金の貸付けを行う、「国際復興開発銀行(IBRD)」も同時に設立された。これらの国際機関を中心とする体制は、設立会議が開催された場所にちなんで、「ブレトンウッズ体制」といわれることがある。

さらに、国家間の自由な貿易のために、「国際貿易機関(ITO)」の設立が計画された。もっとも、ITOの設立はアメリカ議会上院の賛成が得られないなどの理由から途中で挫折した。そこで、1947年に「関税と貿易に関する一般協定(GATT)」が生まれた。当初、GATTは一時的なものであったが、数回のさまざまな貿易交渉を通じて関税の引き下げを行い、約半世紀にわたり世界貿易の拡大に重要な役割を果たした。

問い この文章の内容に合っているものはどれですか。

- 1 IMFは、アメリカ経済のブロック化のために設立された。

- 2 IBRDは、荒廃した国を復興させるためにお金を貸した。
- 3 ITOは、ブレトンウッズで設立した。
- 4 GATTは、アメリカ議会上院に反対されたので一時的なものだった。

(2)

アメリカの青年男女が日本の青年達より服装に金をかけず、豪華なレストランなどへもあまりいかないのは、18歳以降は親から独立して生活するべきだという社会規範が強く、経済的に貧しいからである。アパート代はアメリカでも高く、独立して生活している青年たちは堅実で、贅沢は中年以降の男女か、あるいは法律家やビジネススクール出のコンサルタントなど高収入の専門職についている人々である。(中略)

それに対して日本の親がかりの大学生やOLは、自分のアルバイト収入や給料をすべてこづかいとして自由にできるが、いうまでもなくこのような栄華は期限付きである。いつかは親のかわりに扶養してくれる男性、身の回りの世話をしてくれる女性と結婚しなければならず、とうてい自立しているとはいえない。

問い この文章の内容と合っているものはどれか。

- 1 日本には収入があるにもかかわらず、経済面や生活面で親に頼る青年達がいる。
- 2 アメリカでは高収入の専門家はたいていビジネススクール出の中高年の男女である。
- 3 アメリカでも日本でも若者は経済的に貧しく、アルバイトをして堅実に暮らしている。
- 4 日本の青年たちは働いて得た収入をすべて親に渡すので、自立しているとはいえない。

(3)

辞書は、言葉の学習になくてはならないものである。自らの言葉であっても、外国語であっても、辞書を引いた経験のない者はいまい。辞書には使用されている言葉のあるがままの姿が載せられていると同時に、言葉の使用を規制する働きもある。つまり、「辞書に載っていない使い方は正しくない」とか「使ってはならない」という考え方である。しかし、実際問題として、辞書に言語活動の表現すべてを記述することは不可能である。辞書を活用することは大切だが、辞書に書いてあることを重視するあまり、言葉の自由な使用が規制される方向に向かうことは好ましいことではない。

問い この文章の内容とあっているものはどれか。

- 1 辞書を引いた経験がない者もいるが、辞書は多くの人に使われていて、特に外国語の学習には必要なものである。
- 2 辞書には言葉の使用を制限する働きもあるから、辞書に載っている使い方から外れないようにした方がよい。

- 3 辞書には言語の表現すべてが載っているわけではないから、むしろ辞書にない自由な表現を求めるのがよい。
- 4 辞書に書いてあることを必要以上に重視して、辞書に載っていない使い方を規制しすぎることは望ましくない。

(4)

組織というものは、建物と似た所がある。材木だの金属だのコンクリートだの、そういう異質な素材をたくさん組み合わせて作るのだから、隙間ができるのはやむを得ない。それでも建てた当初は何となくピタリとはまっているように見えるが、年月の立つにつれてゆがみが生じ、隙間風が入りこんでくる。組織もまた、それぞれ個性をもった人間が集まって作るものであるから、手入れをしないで放っておくと、いつとはなく隙間ができるようになる。

問い この文章から読み取れる筆者の組織に対する考え方に合っているものはどれか。

- 1 組織の中の人間関係に絶えず気を配っていないと組織崩壊の原因になってしまう。
- 2 組織に必要な人材は個性を持った人間であるから絶えず個性を磨かねばならない。
- 3 組織は新しければ新しいほど結束力があり個性ある集団として活躍できるものだ。
- 4 組織というものは年月がたつにつれて老齢化し、保守的になってしまうものだ。

(5)

今春の新入社員は、労働時間の短縮や休日増よりも賃金やボーナスのアップを会社に期待する人の割合が高くなっていることが22日、社会経済生産性本部(東京)などの調査で分かった。会社に期待することは「賃金やボーナス増」が45.5%(前年比3.8ポイント増)で、「労働時間の短縮と休日増」の39.9%(同3.7ポイント減)を1971年の調査以来、初めて上回った。

問い 文章の内容と合っているものはどれか。

- 1 これまでも今年も、労働時間の短縮より、賃金を多くもらうことを重視する社員の方が多い。
- 2 これまでも今年も、賃金を多くもらうことより、労働時間の短縮を重視する社員の方が多い。
- 3 これまでは、賃金を多くもらうことを重視する新入社員が多かったが、今年は、労働時間の短縮を希望する社員の方が多かった。
- 4 これまでは、労働時間の短縮を希望する新入社員が多かったが、今年は、賃金を多くもらうことを重視する社員の方が多かった。